

検討項目①「中小企業者等の振興・持続的発展」

会 派	選択理由
日本共産党	<p>地域に根を下ろし、ものづくりやサービスでの需要にこたえ雇用を生み出している中小企業が元気になってこそ、地域が元気になる。また、個人事業主、家族経営、従業員5人以下の小企業者などは地域経済の主役であり、成長発展だけでなく、事業の持続的発展が重要である。</p> <p>中小企業憲章（2010年）、小規模企業振興基本法（2014年）にも位置付けられていることであり、これに則ることが求められる。</p>
公明党	<p>中小企業者等の振興・持続的発展は、地域経済振興において基本を為すべきものと捉えており、現在検討中の条例の進むべき方向であると考えている。</p>
誠風	<p>条例制定後に目指していく具体的な目標であり、中小企業の振興と持続は地域経済の根幹となると考えている。</p>
志民・維新の会	<p>農林水産業や市内にある大企業も含めること</p>
緑風会	<p>中小企業の振興が目的であるため、条例の目的を明確化すべきである</p>
誠新	<p>地域経済の下支えとして、中小企業の振興や持続的発展は欠かせないと考えている。</p>

検討項目②「受注機会の増大」

会 派	選択理由
日本共産党	—
公明党	受注機会の増大は、市内事業者において最大のニーズであり、公民連携で進めていくべきと考える。
誠風	市内事業者の受注機会増大は条例の眼目そのものであり、公民ともにこの観点を持つべきである と考える。
志民・維新の会	—
緑風会	—
誠新	受注機会の拡大により、新たな雇用の創出、技術 継承、経営基盤の強化等が図られると考える。

検討項目③「地域資源の活用促進」

会 派	選択理由
日本共産党	地元の農林水産物などを活用することが、その生産・加工・販売・流通などの各段階で仕事と雇用を生み出し、地域経済循環の要である中小企業を支援することになる。
公明党	—
誠風	—
志民・維新の会	<ul style="list-style-type: none">・小田原市ならではの要素を活かし、1次産業にも重視すること・他市の制定事例が多い
緑風会	<ul style="list-style-type: none">・人と人との関係性・地元産の活用・地産地消
誠新	—

検討項目④「市民の理解・協力の推進」

会 派	選択理由
日本共産党	—
公明党	条例を持続可能にしていくためには、市民の理解が必要であるとともに、市内消費等で支えていただく市民の皆様の協力が地域経済の振興に繋がっていくと考える。
誠風	市民の方の市内消費の意識を高め、その重要性を御理解、御協力をいただくことは、市内経済の好循環に直結すると考える。
志民・維新の会	—
緑風会	—
誠新	消費者が地域経済の振興という視点を持ち、理解・協力することが重要であると考え。地元企業と市民との協働が必要である。

検討項目⑤「経営改善・経営基盤強化」

会 派	選択理由
緑風会	ワークプレイスマーケット、ワーケーション等 執行部施策との一致

検討項目⑥「人材確保及び育成」

会 派	選択理由
志民・維新の会	農林・水産業を含めた、新規事業参入者の確保と 育成

検討項目⑦ その他記載項目

会 派	記載内容
日本共産党	(根幹となる要素) 下請け企業の適正利益の確保と労働者の賃金・労働 条件の改善 (理 由) 実際に地域で、生活している小規模企業経営者と その家族、そこで働く労働者の生活が守られてこ そ、地域経済振興の意義があると考えます。